



ぬくもり通信

2020年5月号 NO. 40

ホームページアドレス

令和2年5月1日 牛久精神保健福祉会発行

代表 遠藤むつよ Tel/Fax(873)0080

<http://www.ushiku-shimin.jp/ucvvcv/index.htm>

令和2年度総会《開催中止に》

今年度総会は4月18日に開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で急遽中止となりました。議事6案については、書面（委任状）による賛成多数で全案可決されました。

開催中止は当会としても初めての経験で、連絡等遅れましたが、皆様のご意見は次回定例会が開催された際に再度確認し、今後の活動に反映させたいと存じます。

【議事】

- (1) 令和元年度活動報告
- (2) 令和元年度会計決算報告
- (3) 令和元年度会計監査報告
- (4) 令和2年度新委員
- (5) 令和2年度活動計画案
- (6) 令和2年度予算案

◇今年度一般会員数：35 賛助会員数：26

◇委任状総数 32通で可決

◇新年度委員

会計監査に小松辰作氏が新任されましたが、7名の委員は全員留任となりました。氏名と役割は総会資料をご覧ください。

◇来賓予定者の異動（新任）

竜ヶ崎保健所	所長	明石 真言 様
牛久市保健福祉部	部長	内藤 雪枝 様

◇今年度活動実施計画

牛久市公共施設の利用再開の見通しがたっていないため、大幅な変更を余儀なくされております。利用再開が決定後、改めてご案内します。



コロナウィルスのお見舞い申し上げます

コロナウィルスの脅威がこんなに酷いと気が付くのが、感染病理研究者を始め医療関係者、政府閣僚も遅れを取った感じがします。（1月の中国春節での旅行客歓迎から）

既存の効果のある薬を利用しつつ、新薬とワクチンが開発されるのを期待し、治療体制やメンタル、生業や生計が立たない方の救済を一刻も早く対応していただきたいと願っています。

一般の家庭でもストレスが溜まって、DVや虐待が増えているとか、…。ぬくもりの会の会員とご家族の皆さんの感染予防努力で、再会出来る日を心よりお待ちしております。

今年度は、オリンピックは勿論かっぱ祭り等、全国の祭りの中止も発表されています。どうぞお元気でいてください。

上手なストレス対処法を見つけて、お過ごしください。役員への電話相談も受け付けます。

代表 遠藤より

＜当面のスケジュール＝参考＞

※牛久市の各施設は、5月末迄の利用は禁止です。

続いて6月以降も未定ですので、該当施設が利用できない場合は定例会も中止となります。7月以降の予定は7月通信にてご覧ください。

日 時	内 容	会 場
5/16(土) 13:30～16:00	【定例会】 中 止	中央生涯学習センター 大講座室
6/20(土) 13:30～16:00	【定例会】 中 止	総合福祉センター 第1会議室
7/18(土) 13:30～16:00	【定例会】 開催は7月 通信で連絡 します	中央生涯学習センター 大講座室

他家族会など外部の動き

《県南かれん3月、4月度定例会》

- ・いずれも中止となりました。

《牛久市障害者連合会》

- ・4/2 三役で保健福祉部他関係者に挨拶
- ・4/20 三役会議、総会資料点検等

《茨城県精神保健福祉会連合会》

- ・社員総会は開催せず書面決議となります。

《みんなねっと 3月号より》

◆サポート付き住宅の展開 P10～

新しいスタイルの居住支援が注目されてます。当事者がグループホームから単身生活を希望して実際にアパート住まいをするとき不安が多く踏み切れない場合が多々あります。しかし、「親なき後」を考えると自立の準備として、親が元気なうちに安心して単身生活できるサポート付き住宅があれば素晴らしいことです。

福島県のI家族会がこれにチャレンジ、10年間順調に経過し、今では約100名が地域の中で自立した生活を送っています。地域の既存のアパートを借り上げ（NPO法人設立）、金銭管理、食事提供、緊急時の連絡体制等を含め医療・保健・福祉とも連携した「居住支援システム」が基盤となっています。

◆障害者自立生活アシスタント P12～

横浜市は障害者モデル事業を各種推進、全国の模範となっておりますが、「障害者自立生活アシスタント事業」もその一つ。市内18拠点に生活支援センターを設置し自立生活アシスタントを配員、地域支援ネットワークが要です。

親なき後に施設入所せず地域生活を続けられるようにという親の願いと、地域で自立して暮らしたいという当事者の願いを叶えるために、平成13年に開始。当初は知的障害が対象でしたが、その後発達障害や精神障害の方々にも広げ現在に至っています。対象者は緊急を要する生活課題が複数あり、一定期間定期的な訪問支援が必要な方と特定されています。自立を妨げないために、期限を設け利用目的を明確にしていますが、国事業の自立生活援助のモデルにもなっています。

新型コロナウイルスに勝とう！

世界で猛威を振るう新型コロナウイルス、高齢者や障害者施設にも感染が拡大しています。健常者以上に感染予防の警戒が必要ですが、そのために就労継続支援施設や地域活動支援センター等が一時閉鎖に追い込まれています。当事者は外出や社会活動も制限され、精神状態に悪い影響が出ていると察します。携帯電話やメールで情報交換は出来ませんが、長引くと症状の悪化も懸念されます。親としても、気をつけながら支援や意思の疎通を図り、見守るしかありません。特効薬が開発されるまでは気力と体力で勝負・・・親も。

ここで一言、新型コロナウイルスは悪いことばかりではなく、人類に対する警鐘を鳴らしているとも言えます。自然界を制覇し地球上で最強の人間も意外ともろいのです。弱いのは精神ばかりではなく、体も意外にもろいと言えます。今回の国難とも言えるコロナ騒動を機会に科学万能の現世を振り返り、自然を大事に崇拝する気持ちも蘇って欲しいと願っております。

ぬくもり川柳

B型に通って急に偉い顔
人類の英知を笑う新コロナ

【訃報】

一般会員の野村良子様在今年1月にお亡くなりになりました。当会役員も歴任されましたが、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

新型コロナウイルス騒ぎのなかで今年度もスタート。宴会・集会中止、入学式や入社式まで何でも密集厳禁、眼に見えない敵に人間は微力です。

ネットワーク導入の会社が増えていますが、当会も同様。とは言え時には顔を合わせることも大事、と実感。
編集担当 N